

バグフィルター設置工事



高さが100メートルある4・5号炉の煙突に並んで立つ150トンクレーンの高さは、96メートルになります。

バグフィルター設置工事の予定

焼却炉	工事内容	平成14年				平成15年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5号炉	既存設備の解体・撤去										
	バグフィルター据付										
	試運転・実運転										
4号炉	既存設備の解体・撤去										
	バグフィルター据付										
	試運転・実運転										
3号炉	既存設備の解体・撤去										
	バグフィルター据付										
	試運転・実運転										

公害防止に関する目標値

今回の工事に係る公害防止に関する目標値は、次のとおりです。

項目	単位	国基準	現状 (平成13年度の測定結果)	組合の目標値
ばいじん	g/Nm ³	0.08	0.003~0.029	0.02以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	平成14.11.30から 80	平成14.12.1から 既設炉 1 新設炉 0.1	0.040~0.43 0.1以下
一酸化炭素	ppm	100	1~30	30以下
窒素酸化物	ppm	250	51~120	125以下
塩化水素	mg/Nm ³	700	150~440	50以下
いおう酸化物	ppm	※注 (3号炉 1.254) (4号炉 3.262) (5号炉 3.105)	28~76	50以下

※注 いおう酸化物の排出基準は、煙突の高さ、排出ガス量、排出ガスの温度、K値(法令で地域ごとに定められた値。当衛生組合は6.42)等により算出されます。いおう酸化物の国基準の値の数値は、平均排出ガス量等に基づいて当衛生組合の排出基準を算出した参考数値です。

【バグフィルター】(ろ過式集じん器)家庭用の電気掃除機と同じ原理で排ガス中のばいじんを取り除く集じん器です。簡易の集じん袋(ろ布)がたくさん並んでおり、ダイオキシン類を含んだばいじんを排ガスから取り除き、きれいな排ガスにします。

バグフィルター設置工事が始まっています。

「えんとつ」第10号でもお知らせしましたように、衛生組合ではより環境に配慮した清掃工場とするために、ダイオキシン類をはじめとする排ガス対策として、従来の電気集じん器に替えてバグフィルターを設置する工事を進めています。6月からは、工場の天井を開口し、大型のクレーンによる既存設備の解体・撤去など本格的な工事が始まっています。工事は、全部で3炉ある焼却炉について1炉ずつ順に進め、来年3月には、高性能の排ガス処理設備を備えた清掃工場に生まれ変わります。

ごみの減量と分別の徹底をお願いします。

工事期間中とはいえ、家庭や事業所から収集されたごみは毎日搬入されてきますので、ごみの焼却処理は一日たりとも休むわけにはいきません。そのため、3炉のうちできる限り2炉を稼動させながら工事を進めます。しかし、7月下旬から来年の1月にかけて、可燃ごみの一部については、焼却処理ができなくなります。処理できないごみは、近隣の清掃工場に支援をお願いしなければなりません。そのごみの量は、およそ5,000トンにもなる見込みです。

支援をお願いする近隣の清掃工場への負担をできるだけ軽くするためにも、ごみの減量と分別の徹底について、皆さんのがんばりをお願いします。

平成13年度ダイオキシン類の測定結果

1. ごみ焼却施設から排出されるダイオキシン類

清掃工場では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律とダイオキシン類対策特別措置法に基づき、毎年1回以上排ガス等に含まれるダイオキシン類の量を測定することになっています。衛生組合では、平成13年度は3回測定しましたが、このたびすべての測定結果がまとまりましたのでお知らせします。本年12月から基準が強化されますが、測定結果はいずれもこれを下回るものでした。衛生組合は、排ガス処理設備を充実させるとともにこれからもごみ焼却施設の管理を適正に行い、ダイオキシン類をはじめとする環境汚染物質の排出抑制に努めます。

測定項目 (単位)	排出ガス (ng-TEQ/Nm ³)	焼却灰 (ng-TEQ/g)	ばいじん(飛灰) (ng-TEQ/g)	ガス冷却ダスト (ng-TEQ/g)	汚泥 (ng-TEQ/g)	排出水 (pg-TEQ/l)
基準値	平成14.11.30まで	80	基準の適用は猶予されています。			
	平成14.12.1から 平成15.1.14まで	1	3	3	3	50
	平成15.1.15以降				3	10
3号炉	0.041 0.060 0.040	0.014 0.012 0.020	0.079 0.18 0.24	0.018 0.26 0.61	1.1	0.017
4号炉	0.19 0.22 0.21	0.0059 0.0076 0.015	0.30 0.31 0.13	0.038 0.058 0.15	1.1	3.2
5号炉	0.073 0.43 0.29	0.0035 0.0077 0.020	0.26 0.33 0.21	0.072 0.20 0.10	0.58	1.5

上段の数値は、上段が第1回(平成13年6月19日~6月21日測定)、中段が第2回(平成13年9月12日~9月14日測定)、下段が第3回(平成14年1月9日~1月11日測定)の測定結果です。

2. 大気中のダイオキシン類調査

衛生組合では、平成11年度から毎年度、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類調査を実施しています。平成13年度は夏季と冬季の2回調査しましたが、結果は下表のとおりです。いずれの調査地点も環境基準(0.6pg-TEQ/m³以下)を下回るものでした。

(単位: pg-TEQ/m³)

調査地点	平成13年度調査結果			平成12年度 年平均値
	(平成13.8.7 ~8.8調査)	(平成14.2.5 ~2.6調査)	年平均値	
小平・村山・大和 衛生組合	0.19	0.27	0.23	0.17
	0.18	0.26	0.22	0.22
	0.17	0.25	0.21	0.23
立川市	0.19	0.23	0.21	0.17
	0.18	0.12	0.15	0.15
	0.20	0.24	0.22	0.19

注① 1ng(ナノグラム)は、10億分の1グラムです。

注② 1pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムです。

注③ TEQは、毒性等量のことと、ダイオキシン類の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。

注④ Nm³(ノルマル立方メートル)は、摂氏0度、1気圧の状態に換算した気体の体積の単位です。

これからも
ごみの減量に
ご協力を!

平成13年度に3市(小平市、東大和市、武藏村山市)の家庭や事業所から衛生組合に搬入されたごみ量は、82,649トンでした。平成12年度に比較して895トンの減少です。ごみ量は、平成11年度から増加傾向にありましたが、ひとまず歴止めがかかりました。ごみを減らすため、これからも皆さんのご協力をお願いします。

